



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER.2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題  
アジア会長主題  
東日本区理事主題  
あずさ部部長主題  
東京西クラブ会長主題

“Yes, we can change 「私たちは変えられる」  
“Action” 「アクション」  
「為せば、成る」 No challenge No fruits  
「未来はそれに備える人のものである」  
「入りたいな」と思われる楽しい会に

2019年2月号  
NO 509

忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。

ローマの信徒への手紙 5章 4節

### 「共生」へのささやかな実践 神谷 幸男

2月の強調テーマは「TOF」。当クラブも2月例会は食事をいつもの豪華？ でないつつましいものにして、その食費の差額を、区を通して国際に献金しています。

「共生・共棲」とは広辞苑（電子版）によると、①ともに所を同じくして生活すること、②省略（生物学的用語）とありますが、ここでは全世界の誰一人取り残されることなく幸せな生活を送ることができることを「共生」と言うことにします。

私たちは平和で物質的にはほぼ不自由でない生活を享受しています。周知の通り世界の現実には飢え・貧困・病・災害・紛争に苦しんでいる人々が多数存在しています。この現実に関心を配り、飢えに対するばかりでなく医療、日常生活、教育等に対しでも共生する立場から支援したいものです。

具体的にはこれらの支援活動

を行っている諸団体（YMCA、UNICEF、UNHCR、セーブ・ザ・チャイルド等々）に属しての活動があるでしょうが、個人的には専門的な活動はそれぞれにお任せすることにしてこの活動を支援する金銭的支援があるでしょう。

TOF運動は正に東日本区の綱領、国際憲法に示された「イエス・キリストの愛と奉仕の実現を目指し、YMCAと共に、よりよい世界の実現のために努力することである」に対するささやかな実践です。大きなことは各国の政府や大企業にお願いすることとして、私たちはクラブレベルでも個人的にもささやかな実践を積み重ねて行きたいものです。



### WHOウォーキングのご案内

漱石が学び、教え、作家として生きる決意をした街をテーマに、文京を歩きます。

期 日：2月23日（第4土曜日）  
コース：JR 御茶ノ水駅—本郷中央教会—富坂—傳通院—葉終焉の地—漱石西片の家—三四郎池—弥生土器発見の地—猫の家—根津神社—鷗外記念館—メトロ千駄木駅

集 合：JR 御茶ノ水駅聖橋口  
改札前 9：40

解 散：千駄木駅 14：30

参加費：300円、参加の方は別に名札代として200円

### クラブ役員

会 長 本川 悦子  
副 会 長 高嶋美知子  
書 記 石井 元子  
会 計 河原崎和美  
担当主事 木川 拓

1月の記録		ニコニコ	8,908円
在籍者数 15人 (内功労会員) 1人	メネット 2人	クラブファンド	1,000円
出席者数 10人	コメント 0人	ファンド残高	152,534円
メーカーシップ 2人	ビジター 12人	ホテ校ファンド	15,510円
出席率 86%	ゲスト 5人	ホテ校残高	73,909円
前月修正 -	出席者合計 29人	WHO参加者	36人

## 2月例会のご案内

## 今月の強調テーマ： TOF

TOFはワイズの国際事業の一つです。私たちはTOFの他にもBF、RBM、YES、あるいはEFにも献金をしています。それらがどのような経路で、どのように活用されているのか、を学びます。東日本区国際・交流事業主任小原史奈子さんをお招きしてお話を伺います。

日時：2月21日(木) 18:45~21:00

会場：ウエルファーム杉並 4階集会室  
(杉並区天沼3-19-16 TEL3202-7330)

会費：500円

担当：B班(石井、神谷、河原崎、木川)

## HAPPY BIRTHDAY

8日 高嶋美知子 19日 神崎 陽子

受付 石井 元子  
司会 河原崎和美

開会点鐘 会長 本川 悦子  
ワイズソング 一 同  
聖書朗読・感謝 神谷 幸男  
挨拶・ゲスト&ビジター紹介 本川 会長  
会食

卓話 「国際・交流事業主任になって思うこと」  
“TOF事業の現状”を中心に  
東日本区国際・交流事業主任  
小原史奈子さん

諸報告 本川 会長  
YMCA 報告 担当主事・木川 拓  
ハッピーバースデー 本川 会長  
ニコニコ 一 同  
閉会点鐘 本川 会長

## -1月第2例会(事務会)-

日時：1月24日(木)

19:00~21:00

会場：ウエルファーム杉並

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、村野、本川、吉田

<報告事項>

- ①1月のデータを確認した。
- ②1月の月次会計報告を承認した。
- ③在京新年会に東京西クラブから12人が参加した。

<協議事項・例会関係>

## ①2月TOF例会

日時：2月21日(木)

18:45~21:00

場所：ウエルファーム杉並

会費：出席者、一律500円

卓話者：東日本区国際・交流事業主任 小原史奈子さん  
「国際・交流事業主任になって思うこと」

## ②3月合同例会：東京世田谷クラブ

日時：3月22日(金)

18:30~20:30

場所：YMCA南センター

## ③例会に3回出席のゲストご夫妻に、紹介者の吉田さんがワイズ

について説明することを依頼した。

- ④次年度も会員の誕生祝プレゼントは、会長に一任する。歴代のプレゼント中、評判の良かった割り箸が候補に上がった。

<協議事項・例会以外>

- ①次年度のホテル学校支援について、小畑校長・木川担当主事と話し合い、今後の支援の仕方を新たに再考することを承認した。(書記・石井元子)

## 2月以降の行事

- ▲2月9日(土) 13:30~  
あずさ部第2回評議会(ホスト・東京八王子クラブ)
- ▲2月24日(日) 15:00~  
東京町田スマイリングクラブ  
チャーターナイト  
玉川学園サンランボーホール
- ▲3月2日(土) 13:00~  
liby チャリティーコンサート  
(東京たんぼぼクラブ)  
日本基督教団阿佐ヶ谷教会
- ▲3月16日(土) 14:00  
東京八王子クラブチャリティーコンサート
- 八王子北野市民センター
- ▲3月17日(日) 14:00~

## 卓話者自己紹介

## 小原 史奈子(おはら・しなこ)

2018-19年度国際・交流事業主任。東京たんぼぼYサービスクラブチャーターメンバー。YMCAとの出会いは、中学1年の冬。友人に誘われ東京YMCA中央ランチで冬・春のスキーキャンプ、野尻中高生キャンプなど2年間参加。

その後両親が属する東京世田谷ワイズメンズクラブのメンバーに誘われてワイズに入会。コメントとして様々なイベントや国際大会などに連れて行かれる。

時は経ち、2002年東京たんぼぼのクラブ設立総会の折、出席を求められ気づくとメンバーに。あれから16年。たんぼぼの活動を通して得た様々な経験、多くの出会いによって少しは成長したか? 本日、卓話者デビュー。

横浜つるみクラブ設立総会  
横浜市鶴見中央地域ケアプラザ



公式クラブ訪問で挨拶する廣瀬あずさ部長

## 初釜と部長公式訪問 —1月例会報告—

1月例会(1月17日)は、東京多摩みなみクラブの深尾香子さんに「茶の湯」の卓話をお願いしました。廣瀬健あずさ部長の公式訪問もあることから、初釜にしようということになりました。

開会后、すぐに廣瀬あずさ部長の挨拶。新しい奉仕イベントを創って、協力者を求め、会員増に繋げようと、自クラブの例を示して、説得力のある提言でした。

「西流茶事」の流れの説明が、深尾さんからあり、京料理「美濃吉」の弁当を楽しみました。深尾さんの茶名は、景福庵深尾宗香、資格は指導者の指導者、真台子(しんだいす)。流儀は表千家の流れをくむ江戸千家です。

まず、3人の「お通い(西流呼称:シャカシャカ・レディース)」によって、主菓子が運ばれます。地元の水ぎやの「水仙」です。これを味わい、深尾さんが本川会長の代理で、薄茶が点てられました。この時は、全員が所作を凝視し、「しーん」と静まりかえりました。茶碗は、主客、廣瀬部長(=これも西流では代理を立てて高嶋美知子さん)へ。

その後は、「レディース」が28人分を点て、全員が、「結構なお点前でした」となりました。その後、パワーポイントを使って『伝統は革新あってこそ〜目から

ウロコの茶道レッスン〜』がありました。一般の茶道のイメージに対して、茶道を通じて子どもも大人も学ぶことが多いことを示されました。

例えば、「稼げるんです!」。①貯筋(転倒防止等に有効な普段の生活で使わない筋力が使える)、②貯近(毎週集まる仲間と飲んで食べて…大笑い)、③貯金(元気で医者いらず、無駄なお金を使いません)。「これは、ワイズにもつながることです」と結ばれました。

参加者からは、茶道も新しくなったとの感想がありました。

今回、これまで3回例会に出席されている会場地元の渡辺さんご夫妻が同じ地元の友人のご夫妻と同行されたのは、大きな喜びでした。

(吉田明弘)  
出席者:<メンバー>石井、大野、神谷、河原崎、木川、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、<メネット>神谷、<ビジター>廣瀬=部長公式訪問、廣瀬 M(甲府 21)、麻生・大輪・山口(東京武蔵野多摩)、菰渕(東京サンライズ)、長谷川(東京八王子)、服部・藤江(東京たんぼぼ)、村上(東京)、田中、深尾=卓話者(東京多摩みなみ)、田上(熊本むさし)、<ゲスト>石井真紀子、茂木愛一郎、茂木遵子、渡辺泰次、渡辺宣子、<メイキャップ>神崎(YMCA業務)、篠原(1月第2月例会)



卓話者・景福庵名倉宗香先生(深尾香子さん)のお点前

## 東京・丸の内から日比谷 WHO 1月例会報告

1月26日は、北関東は降雪も危ぶまれました。JR 東京駅丸の内駅舎北口に集合したのは、36人。駅前に立つと、かつてのビジネス街は高層ビルが林立。しかし、多くのビルは正面の低層部分に面影を残して威圧感はありません。見学先の開館時間があり、一筆書きでは歩けません。JR 本社、丸の内ホテルが、多目的ビルのオアゾに変身。セセッション様式の日本工業倶楽部会館から、丸の内のランドマーク、丸ビルへ。大正12年に創建された初代ビルの基礎を支えた松の丸太5,443本のうち2本が保存展示されています。

丸の内は江戸時代には大名屋敷地で明治になって陸軍練兵所となり、その後、岩崎家に売却されました。その三菱ヶ原に明治27年、最初に建った三菱1号館は、昭和43年に解体され、今はその煉瓦建てのレプリカ(美術館)や植え込み、商業施設、高層のパークビルに再開発されています。日比谷濠に沿って南へ。明治生命館は、昭和13年に建った重要文化財。ギリシャ神殿を思わせるコリント式の円柱には、圧倒されます。現在も使用されている現役ですが見学ができました。戦後、駐留米軍に接収されましたが、解除後に復旧したそうで、大理石の壁、柱、調度品も重厚で見ごたえがありました。(P4に続く)



東京駅丸の内駅舎のビューポイント

(P3 から続く)

昼食は新国際ビルの地下レストラン街で思い思いの店でとりました。

連合軍総司令部が置かれ、マッカーサーが執務した第一生命館には入館しましたが、執務室は非公開。ここから、日本最初の都市公園、日比谷公園に入り、建て直しが話題になっている公会堂、野外音楽堂を眺めました。日比谷通りを渡るとかつての日比谷映画街へ。ミッドタウンなどに集約され、整然とはしましたが、映画看板が立ち並び、行列のあった昔日の熱気は失せてしまいました。大名小路と呼ばれた丸の内仲通りを再び東京駅へ。東京国際フォーラム、丸の内のはしゃぎの中心、東京中央郵便局改め KITTE ビルを抜けて、トリアは、新丸ビル7階の東京駅丸の内駅舎の全景のビュースポットでした。

ワイズ関係参加は、石井・吉田(東京西)、中澤・藤江(東京たんぼぼ)、関(石巻広域)、庄司(東京)でした。(吉田明弘)

## 東京八王子クラブ12月例会 (クリスマス例会) 参加記

昨年12月22日(土)、東京八王子クラブの12月例会(クリスマス例会)にビジターとしてメネット共々参加させていただきました。会場は八王子市下柚木にある大学セミナーハウス。ここは同クラブが特別集会でよく利用するところらしく、あずさ部評議会

を含めて3~4回ほど行ったことのある会場。第2部で「ひつじぐも(中央大学学Y)」の皆さんの余興があるとのことで勇んで参加したものである。第1部はキャンドルサービス(礼拝)

が行われ、並木信一さんの奨励を拝聴した。第2部は「祝う会」。

4つのテーブルにひつじぐもの学生とワイズが混ざり合って着席。茂木稔さんの進行で、出席者紹介の後会食。同ハウスの食堂の提供になるご馳走を楽しく美味しくいただいた。

続いて担当主事である中里敦さんのリードでゲーム。その一つは各テーブル対抗戦。配られた紙テープを課題物品の長さに切ってその正確さを競うもの。課題は一時代前の郵便ポストの高さ、中里さん下半身の長さ等全4件。各テーブル喧々諤々して協議の上長さに切ったテープを提出。各1~4cmの差で勝負決定。他愛のないものの皆大いに楽しんだ。

さて、次に楽しみにしていた「ひつじぐも」の皆さんの余興を期待したが、時間切れとのことでこの余興はなし。ちょっとガッカリ。東京八王子クラブのクリスマス例会を楽しんで、寒空の下帰途についた。(神谷幸男)



4グループが提出されたテープを判定する中里敦さん(クリスマス例会のゲーム)

## YMCA Today

○1月23日~24日に向け、東日本地区YMCAスタッフ研修会に参加させていただきました。若手スタッフを中心にYMCA、キリスト教理解が主旨ではありましたが、東日本大震災からまもなく8年経つ被災地の現状も視察。直に見たその地は確かに物理的な「復興」は進んでいたが、地域の方々のココロの「復興」は進んでいない。今だに帰還困難地域が存在し、その地は目を伏せるほど荒れ果てていた。首都圏を中心に盛り上がりを見せる2020年に向けての「発展」、これまでの数々の天災における「復興」。今、本当にやるべきことは何なのか…考えさせられる研修でした。

○1月19日、第13回子育て講演会「子育てハッピートーク」がしのめ子ども園を会場に開催。河村都氏(オフィスカワムラ代表)を講師に迎え、『「輝く瞬間」最初に気付くのはママ』と題して講演をいただきました。子育て中の保護者を中心に63人が参加し、楽しく子育てしながら子どもの感性を育てるための示唆に富むメッセージも。活発な質疑応答もあり、大変好評な講演会でした。

○今後の主な行事日程

- ・2月27日「ピンクシャツデー 弁護士による特別公開授業」@本部事務局
- ・3月2日東京YMCA 発達支援研究所主催「田中哲氏講演会」@西東京センター
- ・4月11日第29回チャリティーゴルフ大会@レイクウッド総成カントリークラブ  
(担当主事・木川拓)

右のQRコードでWHOのホームページを見ることができます。



☆☆ インタビュー ☆☆  
 今城 高之さんに聴く  
 横浜つづきクラブ



—昨年のクリスマスには、またサンタになられたのですか。

「サンタが本業だということは最高機密事項ですが、所属教会の付属幼稚園と教会の JC (教会学校) の低学年のクラスで、過去 5 年ばかり毎年務めています」

—今城さんは、声も大きく風貌もサンタクロースを思わせませう。日本語、英語、フランス語が流暢なものいいですね。

「英語と日本語でやりますが、最近、幼稚園にアメリカ人の園児 (兄弟) がいるためハラハラします。彼らも、本当のサンタと思ってくれているようですが」

—外国語はどこで。

「高校卒業後、務めた会社から 1 年間イギリスの北アイルランドに技術研修生として派遣されたのがスタートです。その後大学に入り直し、社会に出て 2 度の駐在を含めて数多く海外へ出ました。“on the job training” です。

—どんな仕事をされましたか。

「工学系の大学を卒業後、JETRO に入りました。日本の輸出構造を重厚長大に転換するため国際見本市などを手がけました。海外 PR、日本の姿を正しく海外に伝える、業務でした。

1978 年に日本自動車工業会に出向し、パリ事務所に勤務しました。自動車の「技術基準の国際調和」といった業務を担当し、ジュネーブやブリュッセルなどで開催される国際会議に、日本の業界代表として出席し、結果を日本にフィードバックするのがもつぱ

らの仕事でした。赴任当初は、連絡は封書の時代でしたから、日本での検討結果が戻ってくるのに 2 週間近い余裕がありました」

—貿易摩擦の頃ですか。

「最初に赴任したのは対米、対欧州で貿易摩擦に火が付き始めたころです。自動車の技術基準の国際調和が、非関税障壁撤廃の観点からも叫ばれていました。2 度目の駐在は、1980 年初からで、その時は自動車工業会に移籍して、国際部で欧州問題を担当していました。EU 統合を見据えて、その中心地、ブリュッセルに活動の拠点を移すべしと主張していたら、それならお前行けということになり、新事務所作りをしました。厳しいながら充実した 5 年半でした。帰国後は、時代のニーズによって新設された環境部門で現役を終えるまで任されました」

—ご出身は、どちらですか。

「生まれたのは、母の実家の東京の青山高樹町で、生後半年余りで父のいる上海に移り、そこで終戦を迎え、1946 年 (4 歳) に父の実家があった神戸に引き揚げました。高校 2 年から東京に移り都立高校に在籍します。親は神戸に戻ったため、1 年間は 1 人で下宿暮らしでした。60 年安保の学生運動にも染まり、葛藤の末、大学進学をしない決心をしました」

—どんな子どもでしたか。

「愛情豊かな母親に育てられ、素直で伸び伸びした子だったのではないのでしょうか。もっとも、幼稚園～小学校低学年の頃、近所のガキ大将の手下になり、腰から紐で磁石をぶら下げ、焼け跡を走り回り、磁石に付いた釘や鉄片をくず鉄屋に持ち込んで、小遣いを稼いでいたのが母親に知れ、こっぴどく叱られた記憶があります」

—学生時代には、YMCA のキャンプリーダーをされたのですか。

「夏休みのほぼすべてを神戸 YMCA のキャンプリーダーとし

て過ごしました。そこで得た様々な経験、一生の絆で結ばれた友人たち。おまけに？ 生涯の伴侶を得ることができました。大学へ行くのが同期の仲間より 3 年遅かったため、宏子 (妻) は 2 年上の恐い先輩リーダーだったことから今でも頭が上がりません」

—ワイズとは、どんな縁で。

「リーダー OB・OG から聞いてはいました。教会生活に戻って、すぐ林茂博さんからクラブ設立の話があり、宏子共々参加を決めました。学生時代にお世話になった YMCA への恩返し、という気持ちが強くあったと思います」

—2010 年の横浜国際大会のテーマは「環境」。ゼネラルフォーラムの進行をお願いしました。

「手伝ってほしいと言われた時は、強くお断りしました。仕事で「環境」に携わっていたのは、むしろ、「環境」の波から産業を守るためでした。よほどの覚悟がない限り、環境を守るのはむづかしく、簡単に言えば、豊かで便利な今の生活をどこまで「犠牲」にできるかといった議論をとことん詰めなければ、軽々に環境保護を議論できないと思っていたからです。でも、大勢の方々のご協力により、想定よりはるかに進んだ議論ができたのは喜びでした」

—ワイズに入って。

「このトシになって、昔からの友人、組織での友人たちとの関りも次第に薄れてくる中、大勢の全く新しい友人ができたことは喜びであり驚きでした」

—YMCA への期待は。

「われわれのクラブがカバーする地域には、YMCA がありません。YMCA の誘致はクラブでは困難です。願わくば、横浜 YMCA 自身がこの地域の優位性、ニーズを理解していただき、われわれも巻き込んでの運動に発展させられれば嬉しいのですが」

—ありがとうございました。

(吉田明弘)

## 旅で出会った人 ⑤

村野絢子

## カナダ西から東に1か月 そのI

2005年5月9日から6月9日までの1カ月間、夫のワイズメンズクラブのBF代表としての旅に同行した。旅の最初にエドモントンに東洋英和で親しかったロジャース宣教師をお訪ねした。「皆さん行きますと言って、本当に訪ねてきたのはあなたが初めて！」と喜ばれた。お父様が昔牧師をされ、ロジャース先生を日本に派遣した教会を案内してくださるのは今の牧師。広い体育館は月の何日かはホームレスの人たちの食堂となる。多くの教会はそのため200人分の食事を提供する設備を備えている。最初の訪問地はカルガリー、エド夫妻がグレーハウンドのバス停に迎えに来てくださった。翌日サンドイッチを用意しエドの車でバンフに向かった。ロッキーマウンテンYMCAキャンプ場を訪問、バンフは人通りの多い軽井沢と同じ感じ、15日ペンテコステ礼拝には赤いものを身に着けるのが決まり、テレビの中の人たちも赤い造花をつけている。車でレスブリッジYMCA

まで送って頂き、リチャード総主事の出迎えを受けた。ホテルで着替えたのち20人の例会に出席。翌日アウクとルース夫妻と歴史博物館に、全カナダが2年前から歴史を見直し、ネイティブからの歴史となった。「燃える水と毛皮の取引がネイティブをだめにした」と彼は言う。日加有効日本庭園、馬車の博物館の見学。レジャイナ空港ではレジャイナクラブのスタンとカロリンが出迎えて下さった。特別例会は中華料理店で19人の出席。機内から見た広い農地を見たいと希望してカロリンの従兄クック家を訪問、巨大な農機具にビックリ、だが小麦だけでは生計が立たず、今は100年以上経つ祖父の家で貴重な古い車を映画の撮影に貸す会社を運営している。



## 目測の違い

鳥越成代

私はよく大江戸線を利用します。でも親友は嫌いだといいますが。理由は車幅が狭いし、天井が低い。おまけに地下深くに走り、ホームに行くのが大変。確かにその通りですが、東京は、網の目のように地下鉄が走り、かなり遅く作られたのだからしかたないでしょ。それに優先席が多いと私。

どうして私が大江戸線の味方しているの？と考えたら、しっかりした理由がありました。東京都シルバーパスです。友人は余り恩恵を受けていません。

ある日、片側4人掛けの優先席の端(出入口側)に座っていました。隣には同年輩の女性1人。向かい側のシートも同じように2人着席。隣車両から、幼稚園児？を連れて若いママが入ってきて、私側の隅に着席。当然子供も隣に座ると思いましたが、彼女はちらっと、席を見て、向かい側に。直ぐに、ママが自分の横の席に来る

よう促しました。子供は立ち上がり、1・2歩歩いて、かわいい小聲で「ムリ！」と言って元の席に。

すかさず私の隣人は立ち上がり、前の席に移りました。子供はママの隣に飛び込んできました。ママはすみません、有難うございます、と頭を下げ恐縮している。

私達同席者は、皆、思わず小聲で笑ってしまいました。確かに移動した方は太っていた。でも、空いている場所に親子で十分座れた。でもお嬢ちゃんに入らないと判断したのですね。優先席に座るたびに思い出して微笑んでしまいます。



## 編集後記

2月号は1月中に発刊しようと思いましたが、編集者自身の原稿が遅れ初志貫徹できませんでした。早々に原稿を執筆してくださいました方々に感謝します。特にワイズに関する情報以外の記事、ワイズメン自身の個人的想いや体験談等の記事を寄稿してくださいました方に感謝します。編集者個人としては、このような記事が多く掲載できるようになれば嬉しいと思っています。日本の社会の現状は19世紀に逆戻りしているように思われると先に書きましたが、世界の現状は中国と米国との関係ばかりでなく益々対決姿勢が強まってきています。国同士が互いに相手を理解し、赦しと和解が求められるところですが、まさにワイズが追い求める世界の平和と人類の幸福の実現に寄与し、より良い世界の実現に努力するところと一致します。各クラブの発行するブリテンもこの一翼を担っているのかもしれませんが。(SK)